

SHARP®

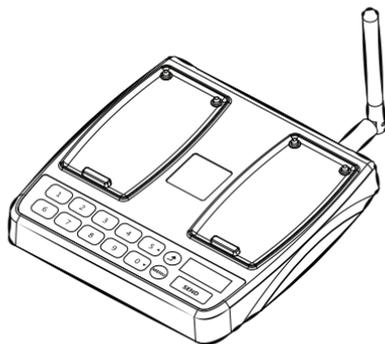
取扱説明書

コールベルシステム

送信機

形名 RZ-1TC1

内容



1. 安全上のご注意	P2
2. 使用上のお願い	P3
3. 付属品を確認する	P4
4. 各部の名称と機能	P5
5. お使いになる前に	P6
6. 一日の流れ	P7
7. 受信機の充電	P7
8. 受信機番号の設定	P8
9. 受信機の呼び出し	P9
10. 受信機をオフにする	P9
11. 呼び出し設定の変更	P10
12. 通信範囲外通知の設定	P11
13. 再通知機能の設定	P12
14. その他の機能	P12
15. メンテナンス	P13
16. 故障かな？と思ったら	P13
17. 製品仕様	P15
18. 保証について	P15

コールベルシステム

・送信機	RZ-1TC1
・受信機	RZ-1GP1
・充電器	RZ-1GC1
・中継機	RZ-1TR1

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

この取扱説明書はいつでも見ることができる所に必ず保管してください。

1. 安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、次の事項をよくお読みの上、使用ください。

絵表示について

この「安全上のご注意」には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように示しています。内容をご理解の上本文をお読みください。



警告 人が死亡、または重傷を負う恐れがある内容を示しています。



注意 人がけがをし、財産に損害を受けたりする恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

警告

- ⊘ 自動ドアや火災報知機のような自動制御機器の近くで本製品を使用しないでください。
送信機の電波は、医療機器や自動制御機器の誤動作の原因になることがあります。
- ❗ **ACアダプター、電源コードは必ず同梱品を使用ください。**
同梱品以外のものを使用すると、感電や火災が起こる可能性があります。
- ⊘ 付属の**ACアダプターおよび電源コードは他の機器に使用しないでください。**
- ⊘ **雷が鳴っているときは、本製品に触らないでください。**
感電の原因になります。
- ⊘ **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
感電の原因になります。
- ❗ **電源はAC100Vのコンセントを使用ください。**
それ以外の電源で使用すると、火災の原因となることがあります。
- ⊘ **製品の分解や改造をしないでください。**
火災や感電の原因になります。故障した時は、すぐに電源を切り、本製品の電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはシャープのサービス会社にご連絡ください。
- ❗ **電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。**
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
- ❗ **万一、発熱や発煙、臭気を感じた場合、異物(金属片、液体)が本製品の内部に入ったなどの異常が発生した場合はすぐに電源を切り、本製品の電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはシャープのサービス会社にご連絡ください。**
そのまま使用すると感電や火災の原因になります。
- ❗ **万一、本製品を落としたり、キャビネットを破損したりした場合は、すぐに電源を切り、本製品の電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはシャープのサービス会社にご連絡ください。**
- ❗ **「クリップ」や「スプーン」などの金属製品が本製品の充電端子に触れないようにしてください。**
万一、接触した場合は、電源プラグを抜いてからお取りください。
- ❗ **災害などで製品が水に浸かった場合は、部品の交換が必要ですので、すぐに電源を切り、本製品の電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはシャープのサービス会社にご連絡ください。**
そのまま使用すると感電や火災の原因になります。
- ⊘ **電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。**
- ❗ **感電防止のため、必ずアース接続してください。**
屋内アース配線された3ピンコンセントに接続し、アースしてください。店舗の模様替えなどで本製品を移動する場合は、アース配線された3ピンコンセントがある場所を選んでください。
- ❗ **電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。必ず電源プラグを持って抜いてください。**
コードが傷つき、感電や火災の原因となります。

⚠ 警告

- ❶ 本製品を移動させる場合は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。
コードが傷つき、感電や火災の原因となります。
- ❷ 電源プラグにほこりがついていないか確認し、根元まで完全に差し込んでください。
接続が不完全でほこりが付くと、感電や火災の原因になります。
- ❸ 連休などで長時間本製品を使用しない時は、安全のため必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ❹ 本製品は生命救済、犯罪防止を目的とした機器ではありません。一般報知、連絡用として使用してください。
- ⓪ 本製品の上に水などの入ったコップや容器または金属物を置かないでください。
こぼれて中に入るなどした場合、火災、感電の原因となることがあります。
- ⓪ 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。また、調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。
火災、感電の原因となることがあります。
- ⓪ タコ足配線をしないでください。
タコ足配線はコードが過熱するなどして、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

- ⓪ 本製品をぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- ⓪ 動作中に本製品を傾けたり、持ち上げたりしないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- ❶ 受信機を充電する際は、受信機が高く積みあがりますので、触れたりして倒れないようにしてください。
- ❶ 本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグは抜き差ししやすい場所に差し込んでください。
- ⓪ 本製品の温度が高くなる部分に長時間触れないでください。
低温やけどの原因となることがあります。
- ⓪ 本製品の上にものを置かないでください。
置いたもののバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

2. 使用上のお願い

本製品を正しくお使いいただくために、以下のことをおまもりください。

■使用環境と設置場所

- ・本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグは抜き差ししやすい場所に差し込んでください。
- ・本製品は特定小電力(429MHz帯)を利用した無線機です。設置場所周辺の電波状態、建物の構造により通信距離が短くなる場合がありますので事前に送信機の送信可能範囲をご確認ください。
- ・静電気が発生しやすい場所や、テレビや電子レンジなどのノイズが発生しやすい機器の近くに置かないでください。
- ・本製品の上にものを置かないでください。電波が遮断されて通信範囲が狭くなる場合があります。
また置いたもののバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。
- ・電波が遮断されて通信範囲が狭くなる場合がありますので、大きな金属物に囲まれていないかご確認ください。
- ・本製品は防水仕様ではありません。雨や水がかからない場所で使用してください。
- ・本製品に受信機をセットする前に、受信機が濡れている場合は水分を拭き取ってください。
- ・調理台など油煙のあたる場所に設置しないでください。
- ・本製品を直射日光下や湿気やほこりの多い場所で使用しないでください。
- ・周囲温度は5~35°Cの範囲内で使用してください。
- ・寒い場所から暖かい場所に移動させると、結露が生じることがあります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで使用しないでください。故障の原因となります。(結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください。)

- ・本製品をぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。
- ・ACアダプターと電源コード、アンテナは必ず付属のものを使用してください。
- ・本製品は屋内専用です。屋外では使用しないでください。
- ・設置後、使用環境(電波環境)が変わることがありますので、定期的受信機の呼び出しの動作確認を行ってください。
- ・本製品の上には受信機以外のものを載せないでください。置いたもののバランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

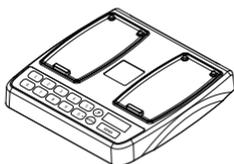
■その他

- ・本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載あるいは複製することはお断りします。
- ・本書の内容および本製品は、改良のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。
- ・本製品の廃棄については、各自治体の廃棄ルールにしたがってください。

3. 付属品を確認する

お使いになる前に、次の付属品を確認してください。

送信機 1台



電源コード 1本



ACアダプター 1個



取扱説明書(本説明書) 1部

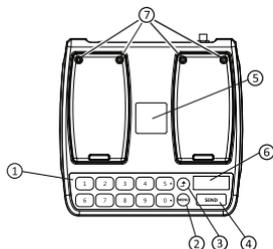


アンテナ 1本

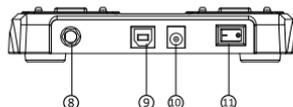


4. 各部の名称と機能

送信機（上面）



送信機（背面）



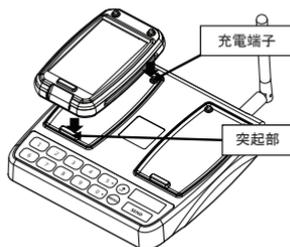
番号	名称	機能
①	番号キー (0~9)	受信機番号の入力に使用します。 5キーと0キーについてはメニュー選択時に、アップキー 5 とダウンキー 0 としても使用します。
②	MENUキー MENU	送信機の設定パラメータを変更するときに使用します。
③	キャンセルキー ↑	ひとつ前のメニューに戻る時とキャンセル時に使用します。
④	SENDキー SEND	送信時と決定時に使用します。
⑤	データ送信エリア	受信機へのデータ書込みに使用します。
⑥	LEDディスプレイ	操作状態を表示します。
⑦	充電端子	受信機を充電するための端子です。
⑧	アンテナ端子	付属のアンテナを接続します。
⑨	保守用端子	サービス用に使用します。
⑩	電源端子	付属のACアダプターを接続します。
⑪	電源スイッチ	電源をオン(—)・オフ(O)します。

<受信機をセットする>

受信機底面の充電端子[入力]が送信機の充電端子に接触するように受信機を置いてください。このとき、受信機底面のくぼみに送信機上面の突起部が入るようにしてください。

受信機をセットすると、受信機の充電が開始されます。

待機中の受信機は送信機(または充電器)にセットしておいてください。



5. お使いになる前に

コールベルシステムをはじめてお使いいただくときは、次の手順でコールベルシステムを使用できるようにします。

- ① 送信機を設置する。
- ② 中継機を設置する。(中継機を使用する場合のみ)
- ③ 充電器を設置する。(充電器を使用する場合のみ)
- ④ 受信機を使用できるようにする。

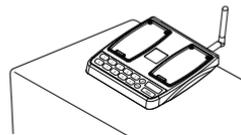
それぞれの動作確認手順は次のとおりです。

① 送信機を設置する。

1. アンテナを接続します。
2. テーブルなどの水平で安定した台の上に送信機を設置します。
3. ACアダプターと電源コードを接続します。
4. 送信機の電源端子にACアダプターを接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。
5. 電源スイッチをオンにし、LEDディスプレイに が表示されていることを確認してください。

ご注意：

- ・送信機を移動する際は、アンテナを持たないでください。



② 中継機を設置する。(中継機を使用する場合のみ)

1. アンテナを接続します。
 2. テーブルなどの水平で安定した台の上または壁面に中継機を設置します。
 3. ACアダプターと電源コードを接続します。
 4. 中継機の電源端子にACアダプターを接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。
 5. 電源スイッチをオンにし、電源インジケーター (POWER) が青色に点灯していることを確認してください。
- ※中継機の取扱いについては、中継機(RZ-1TR1)取扱説明書を参照ください。

③ 充電器を設置する。(充電器を使用する場合のみ)

1. テーブルなどの水平で安定した台の上に充電器を設置します。
 2. ACアダプターと電源コードを接続します。
 3. 充電器の電源端子にACアダプターを接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。
 4. 電源スイッチをオンにし、電源インジケーターが赤色に点灯していることを確認してください。
- ※充電器の取扱いについては、充電器(RZ-1GC1)取扱説明書を参照ください。

④ 受信機を使用できるようにする。

1. 絶縁シートを抜きます。受信機(RZ-1GP1)取扱説明書「5. お使いになる前に」を参照ください。
2. 必要に応じて、広告シートを取り付けます。
受信機(RZ-1GP1)取扱説明書「7. 広告シートの取り付け方法」を参照ください。
3. 「7. 受信機の充電」を参照し、受信機を充電してください。
4. 「8. 受信機番号の設定」を参照し、受信機番号を設定してください。
5. 必要に応じて、通信範囲外通知などの設定を変更してください。
「11. 呼び出し設定の変更」「12. 通信範囲外通知の設定」「13. 再通知機能の設定」を参照ください。

⑤ 呼び出しの動作確認をする。

1. 「9. 受信機の呼び出し」を参照し、送信機から受信機の呼び出し動作ができることを確認してください。
2. 「14. その他の機能」を参照し、通信範囲を確認してください。

6. 一日の流れ

■開店時

インジケータやディスプレイに何も表示されていない受信機は、電源をオンにするために送信機または充電器にセットし、充電を開始してください。インジケータが赤色に点灯している受信機や、ディスプレイに「Lo」が表示されている受信機は「7. 受信機の充電」に従い、充電してください。



■営業中

営業中は、緑色に点灯している受信機を優先的に使用してください。

受信機を呼び出す場合は、「9. 受信機の呼び出し」に従い、受信機を呼び出してください。

呼び出しが完了し、受信機を受け取り後、受信機を送信機または充電器にセットし、充電してください。再通知機能が有効である場合は、受信機を送信機または充電器にセットしないと再通知が働き、再度呼び出されます。

■送信機の電源をオフにするとき

閉店時や連休などで長時間使用しない時など、送信機の電源をオフにするときは、「10. 受信機をオフにする」に従い、まず、受信機の電源をオフにしてください。受信機の電源がオフになったことを確認して、送信機の電源をオフにしてください。

通信範囲外通知の設定を行っている場合、受信機の電源をオフにしないと受信機のブザー音が1分おきに鳴り続けます。その場合、送信機の電源をオンにして、受信機をオフにしてください。

7. 受信機の充電

送信機の上に受信機を置くことによって受信機の充電ができます。さらに、受信機の上に別の受信機を重ね合わせることで、一度に最大30台(15台×2列)の充電が可能です。

1. 送信機と受信機を確認する

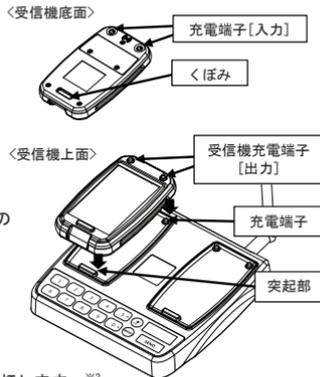
送信機と受信機の充電端子にほこりや油脂が付着していないか、端子が濡れていないかを確認してください。また、送信機上面にある突起部と受信機底面のくぼみにゴミやほこりなどの異物がついていないかを確認してください。^{※1}

2. 送信機に受信機をセットする

受信機底面の充電端子[入力]が送信機の充電端子に接触するように受信機を置いてください。このとき、受信機底面のくぼみに送信機上面の突起部が入るようにしてください。受信機の充電が開始されます。

3. 複数の受信機を充電する

上記2でセットした受信機の上に別の受信機を重ね合わせるようにしてセットしてください。^{※2}



受信機をセットしたあと、受信機のインジケータが赤色もしくは緑色に点灯します。^{※3}

・インジケータが赤色に点灯している受信機は、緑色になるまで充電を続けてください。^{※4}

・インジケータが緑色に点灯している受信機は使用できます。

充電器を使って受信機を充電するときも上記と同じ方法です。

待機中の受信機は送信機(または充電器)にセットしておいてください。



ご注意：

- ※1 ほこり、油脂、ゴミなどが付着していると、充電端子の接触が悪くなって、受信機が充電されないことがあります。ほこり、油脂、ゴミなどは取り除いてください。
- ※2 受信機は左右それぞれ 15 台ずつ、合計 30 台までセットできます。積み上げた受信機の台数が多い場合、受信機が不安定になることがありますので、必要に応じて積み上げる受信機の台数を減らしてください。また、受信機の使用頻度を平均化するために、定期的に受信機の積み上げ順序を入れ替えることを推奨します。
- ※3 受信機のインジケーターが点灯していない場合、受信機の電源がオフになっている可能性があります。受信機の電源がオフの状態では充電できません。一旦、受信機を外して、もう一度セットしなおしてください。
- ※4 受信機のインジケーターが赤色に点灯している状態で受信機を使用すると、使用中に受信機の電源がオフになり、受信機の呼び出しができなくなる(受信機で呼出し動作をしなくなる)可能性があります。

8. 受信機番号の設定

特定の受信機を呼び出すために、受信機に番号(受信機番号)を設定します。(この設定により送信機と受信機がひもづけされます。)受信機は、受信機番号の設定をおこなった送信機から呼び出すことができます。他の送信機から呼び出すことはできません。

受信機番号を設定するには、下記の手順に従って設定してください。(充電中の受信機がある場合は設定できません。)

1. 本製品のLED ディスプレイに **----** と表示されていることを確認してください。
MENU キーを3秒間押し、LED ディスプレイに **PRSS** を表示します。
「1234」を入力し、SEND キー **SEND** を押しと、右の2つの表示が交互に表示される状態になります。 **S 1 2 3 4** **E S E T**
2. **P id** **S E T** が交互に表示されるまで、アップキー **5** またはダウンキー **0** を押します。
3. SEND キー **SEND** を押します。本製品のLEDディスプレイに **----** が表示されます。
4. 右図のように受信機底面の  が送信機のデータ送信エリア  に重なるように置きます。
5. 設定したい受信機番号1~999までの番号を入力します。
6. SEND キー **SEND** を押します。
7. 設定が完了すると、LEDディスプレイに **000d** が表示され、受信機側に新しい受信機番号が表示されます。
000d が表示されたあとは、再び **----** が表示されます。
受信機番号の設定を続けて行う場合は、4. から再度開始してください。
8. 受信機番号の設定を終了する場合は、キャンセルキー  を2回以上押してください。
---- が表示されれば終了です。



データ送信エリア



ご注意：

- ・複数の受信機に同じ番号を設定し、同時に呼び出しすることも可能です。
- ・6. の操作後、受信機と通信できない状態が5秒間続くとタイムアウトになり、受信機番号の設定はキャンセルされ、LEDディスプレイに「FAIL」と表示されます。その場合は、受信機を置く位置を見直して、再度、上記手順の4. から開始してください。
- ・操作の途中でボタンを押し間違ってしまった場合は、キャンセルキー  を2回以上押して、再度、上記手順の1. からやり直してください。
- ・**SYS** **Code** および **FrEq** **SEt** はシステム設定変更用のメニューです。システム設定を変更すると受信機の呼び出しができなくなりますので、この画面が表示されても絶対に選択しないようにお願いします。万一、誤って選択してしまった場合は、キャンセルキー  を2回押してください。
- ・送信機を交換した場合は、再度受信機番号の設定が必要です。

9. 受信機の呼び出し

送信機を操作して、受信機を呼び出すことができます。

受信機の呼び出し方には、受信機番号を指定して受信機を呼び出す方法とすべての受信機を呼び出す方法があります。

■受信機番号を指定して受信機を呼び出す

1. 本製品の LED ディスプレイに **----** と表示されていることを確認してください。
2. 番号キーで呼び出したい受信機番号を入力します。(例：右の表示は 15 を入力した場合)
3. SEND キー **SEND** を押します。
4. **Send** と表示されたあと、受信機番号の表示に戻ります。
5. 別の受信機を呼び出したい場合は、2. から操作してください。

-- 15

■すべての受信機を呼び出す

1. 本製品の LED ディスプレイに **----** と表示されていることを確認してください。
2. 番号キーで「1999」を入力します。
3. SEND キー **SEND** を押します。
4. 受信機が以下の動作をします。
 - ・送信機または充電器にセットされている受信機：30 秒間呼び出し(LED 点滅、ブザー)
 - ・それ以外の受信機：30 秒間呼び出し(LED 点滅、ブザー、振動)

ご注意：

- ・送信機の LED ディスプレイには最後に呼び出した受信機番号が表示されます。
- ・過去に呼び出した受信機番号の履歴は残りません。
- ・SEND キーを押した後で呼び出しをキャンセルすることはできません。

10. 受信機をオフにする

長時間使用しない受信機は電源をオフにしてください。

1. 本製品の LED ディスプレイに **----** と表示されていることを確認してください。
2. 電源をオフにしたい受信機を送信機または充電器にセットしてください。
3. 番号キーで「1998」を入力します。
4. SEND キー **SEND** を押します。
5. 受信機の番号表示が消えると完了です。

ご注意：

- ・送信機または充電器にセットされた受信機がオフになります。セットされていない受信機はオフになりません。
- ・受信機単体では受信機の電源をオフにできません。必ず上記の手順に従ってください。
- ・オフにした受信機をオンにするには、再度、受信機を送信機または充電器にセットしてください。

11. 呼び出し設定の変更

店舗環境や使用方法に合わせて、受信機の呼び出し設定を変更することができます。

呼び出し設定を変更したい場合は、下記の手順に従って設定してください。

1. 本製品のLED ディスプレイに「----」と表示されていることを確認してください。
MENU キーを 3 秒間押し、LED ディスプレイに「PASS」を表示します。
「1234」を入力し、SEND キー **SEND** を押しすと、下の 2 つの表示が交互に表示される状態になります。

5 1 6 E 1 5 E

2. **RL E** **SE E** が交互に表示されるまで、アップキー **5** またはダウンキー **0** を押します。
SEND キー **SEND** を押してください。現在設定されている値の下 4 桁(下記の表:B~Eの値)が表示されます。
3. 下記の表および例を参照して呼び出しパターン/タイプと時間を 5 桁の数字で入力してください。
(呼び出しタイプによってブザー音と振動と点滅の回数や間隔が変わります。)
4. SEND キー **SEND** を押します。
5. **RL E** **SE E** が交互に表示されれば設定完了です。
6. 呼び出し設定を終了する場合はキャンセルキー **↑** を押してください。「----」が表示されれば終了です。

A:呼び出しパターン		B:呼び出しタイプ		C:点滅時間		D:ブザー音時間		E:振動時間	
値	内容	値	内容	値	内容	値	内容	値	内容
1	点滅のみ	1	タイプ 1	1	1 秒	1	1 秒	1	1 秒
2	点滅と振動	2	タイプ 2	2	2 秒	2	2 秒	2	2 秒
3	点滅とブザー音	3	タイプ 3 ^(※)	3	4 秒	3	4 秒	3	4 秒
4	点滅と振動とブザー音 ^(※)	4	タイプ 4	4	8 秒 ^(※)	4	8 秒 ^(※)	4	8 秒 ^(※)
		5	タイプ 5	5	16 秒	5	16 秒	5	16 秒
		6		6	30 秒	6	30 秒	6	30 秒
		7		7	60 秒	7	60 秒	7	60 秒
		8		8	120 秒	8	120 秒	8	120 秒
		9		9	連続	9	連続	9	連続

(※)工場出荷時設定

(例) A: 点滅と振動とブザー音、B: タイプ 3、C: 8 秒、D: 8 秒、E: 8 秒を選択した場合、“43444”となります。

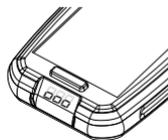
ご注意:

- ・5 桁を入力した状態でも LED ディスプレイには下 4 桁のみ表示されます。
- ・「C:点滅時間」、「D:ブザー音時間」、「E:振動時間」で「連続」を選択した場合は、受信機を送信機または充電器にセットするまで呼び出しは止まりません。
- ・呼び出しパターン「1:点滅のみ」、「2.点滅と振動」、「3.点滅とブザー音」を選択した場合、それぞれの呼び出しパターンに含まれないブザー音、振動の設定である「D:ブザー音時間」、「E:振動時間」にどの値を設定しても、呼び出しの動作には反映されません。
- ・呼び出し設定時は、受信機を充電器または送信機にセットする必要はありません。
- ・ブザー音が二回鳴った場合は、エラーです。キャンセルキー **↑** を 5 回押し正しい数字を入力してください。
- ・**SYS** **Code** および **FrEq** **SE E** はシステム設定変更用のメニューです。システム設定を変更すると受信機の呼び出しができなくなりますので、この画面が表示されても絶対に選択しないようにお願いします。万一、誤って選択してしまった場合は、キャンセルキー **↑** を 2 回押ししてください。

12. 通信範囲外通知の設定

受信機が通信範囲から外れたことを通知するための機能です。工場出荷時は無効です。

本設定を有効にした状態で、受信機が通信範囲から外れるなど、受信機が電波を受信できなくなると、受信機のインジケータが赤色と緑色に点滅します。この場合、LED ディスプレイには、が表示され、受信機が通信範囲内になるまでブザー音が1分おきに鳴り続けます。



■通信範囲外通知を有効にする場合

1. 本製品の LED ディスプレイに  と表示されていることを確認してください。
2. 設定したい受信機を送信機または充電器にセットしてください。
3. 番号キーで「1997」を入力します。
4. SEND キー  を押します。
5. 受信機のインジケータ（赤色/緑色）が2回点滅すれば、設定完了です。
6. キャンセルキー  を押してください。
 が表示されれば終了です。

■通信範囲外通知を無効にする場合

1. 本製品の LED ディスプレイに  と表示されていることを確認してください。
2. 設定したい受信機を送信機または充電器にセットしてください。
3. 番号キーで「1996」を入力します。
4. SEND キー  を押します。
5. 受信機のインジケータ（赤色/緑色）が2回点滅すれば、設定完了です。
6. キャンセルキー  を押してください。
 が表示されれば終了です。

ご注意：

- ・本設定が有効の状態で、送信機の電源がオフになると、受信機が通信範囲外となり、ブザー音が鳴り続けますので、送信機の電源をオフにする場合は、必ず受信機側の電源もオフにしてください。
- ・受信機の電源をオフにするのは送信機でおこないます。停電などで送信機が使用できない場合は、受信機の電源をオフにすることはできません。
- ・受信機が通信範囲から外れたことは、送信機側には通知されません。
- ・本設定は送信機または充電器にセットされた受信機に反映されます。セットされていない受信機には反映されません。

13. 再通知機能の設定

呼び出し後自動的に一定間隔で再呼び出しする機能です。工場出荷時は無効です。

この設定を有効にすると、呼び出し後、1分おきに3回、再呼び出しが行われます。再呼び出しは、受信機を送信機または充電器にセットすることで停止します。

■再通知機能を有効にする場合

1. 本製品のLED ディスプレイに **----** と表示されていることを確認してください。
2. 設定したい受信機を送信機または充電器にセットしてください。
3. 番号キーで「1995」を入力します。
4. SEND キー **SEND** を押します。
5. 受信機のインジケータ(赤色/緑色)が2回点滅すれば、設定完了です。
6. キャンセルキー **+** を押してください。
---- が表示されれば終了です。

■再通知機能を無効にする場合

1. 本製品のLED ディスプレイに **----** と表示されていることを確認してください。
2. 設定したい受信機を送信機または充電器にセットしてください。
3. 番号キーで「1994」を入力します。
4. SEND キー **SEND** を押します。
5. 受信機のインジケータ(赤色/緑色)が2回点滅すれば、設定完了です。
6. キャンセルキー **+** を押してください。
---- が表示されれば終了です。

ご注意：

- ・本設定は送信機または充電器にセットされた受信機に反映されます。 セットされていない受信機には反映されません。

14. その他の機能

■範囲テスト

通信可能範囲をテストする場合に使用します。範囲テストでは受信機番号「1」の受信機を使います。受信機番号「1」の受信機を準備してください。^(※)

1. 本製品のLED ディスプレイに **----** と表示されていることを確認してください。
MENU キーを3秒間押し、LED ディスプレイに **PRSS** が表示されれば「1234」を入力し
SEND キー **SEND** を押すと、下の2つの表示が交互に表示される状態になります。
S I E E **E S E E**
2. SEND キー **SEND** を押します。
3. キャンセルキー **+** が押されるまで、10秒ごとに受信機が呼び出されます。

(※)複数の受信機を使ってテストするときは、テストに使用する受信機すべての受信機番号を「1」に設定してください。

ご注意：

- ・ **SYS** **CODE** および **FREQ** **SET** はシステム設定変更用のメニューです。システム設定を変更すると受信機の呼び出しができなくなりますので、この画面が表示されても絶対に選択しないようにお願いします。万一、誤って選択してしまった場合は、キャンセルキー  を2回押してください。

15. メンテナンス

メンテナンスを行う場合には必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

必要に応じて清掃してください。

- ・ 送信機が汚れているときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。
汚れが落ちない場合は、よく絞った布で軽く拭き取り、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ・ 送信機を清掃するときは、有機溶剤、ワックス、石鹸、研磨材、お湯、化学洗浄布、業務用洗剤などを使用しないでください。
- ・ 送信機上面の充電端子や突起部にほこりや油脂などが付着していると、受信機(底面)の充電端子との接触が悪くなって、充電されないことがあります。送信機上面の充電端子および突起部が汚れたときは、乾いた柔らかい布で汚れを取り除いてください。

16. 故障かな？と思ったら

No.	症状	考えられる原因	確認項目と解決方法
1	送信機のLEDディスプレイに何も表示されない	ACアダプターまたは電源コードが外れている。	電源コードや AC アダプターの接続を確認してください。プラグや端子の挿入が中途半端な場合は、根元まで完全に差し込んでください。
		送信機の電源スイッチがオフになっている。	送信機の電源スイッチをオンにしてください。
2	送信機を操作して、受信機を呼び出しても受信機の呼び出し動作がおこらない	受信機がオフになっている。	受信機をオンにしてください。
		受信機の電池が充電切れになっている。	受信機の充電を行ってください。
		メニュー選択状態になっている。	キャンセルキーを2回押して、再度呼び出してください。
		通信範囲外になっている。	送信機の近くに戻してください。
		送信機のアンテナが正しく接続されていない。	送信機のアンテナに緩みがない様に接続してください。
	送信機と受信機がひもづけされていない。または送信機が交換された。	「8.受信機番号の設定」をおこなってください。	

3	充電しても受信機のインジケータが点灯しない	ACアダプターまたは電源コードが外れている。	電源コードや AC アダプターの接続を確認してください。プラグや端子の挿入が中途半端な場合は、根元まで完全に差し込んでください。
		送信機の電源スイッチがオフになっている。	送信機の電源スイッチをオンにしてください。
		受信機が正しくセットされていない。	送信機と受信機の充電端子が接触しているか確認してください。外れている場合は受信機を正しくセットし直してください。
		送信機または受信機の充電端子に異物が付着している。	充電端子を清掃し、ほこりなどの異物が取れたことを確認してから再度セットしてください。
		受信機の電源がオフになっている。	受信機を充電端子から外して、もう一度セットし直してください。
		送信機が傾いている。	水平な場所に置いてください。
4	長時間(10時間程度)充電しても受信機のインジケータが緑色に点灯しない、または、受信機のインジケータが緑色に点灯しているのに、充電器から外すと短時間で電池が切れる	電池が消耗している。	お買い上げの販売店またはシャープのサービス会社にご連絡ください。
5	呼び出ししていない受信機に呼び出し動作がおこる(点滅・振動・ブザー音)	受信機の通信範囲外通知の設定が有効で、受信機の電源をオフにしないまま送信機の電源をオフにした。	送信機の電源をオンにしてください。呼び出し動作が止まる場合は「10. 受信機をオフにする」を参照して受信機をオフにしてください。
		電池残量が残りわずかとなり、受信機のディスプレイに「Lo」が表示されている。	充電を行ってください。
		再通知機能が有効になっており、再呼び出しが行われている。	受信機を送信機または充電器にセットしてください。
6	受信機の LED ディスプレイに  と表示される	通信範囲外になっている。	送信機の近くに帰ってください。
		受信機の通信範囲外通知の設定が有効の状態、受信機の電源をオフにしないまま送信機の電源をオフにした。	送信機の電源をオンにしてください。呼び出し動作が止まる場合は「10. 受信機をオフにする」を参照して受信機をオフにしてください。
7	受信機が想定した呼び出し設定内容と異なる動作をする	呼び出し設定が正しく設定されていない。	「11. 呼び出し設定の変更」を参照して呼び出し設定をやり直してください。
8	受信機の LED ディスプレイに何も表示されない	受信機の電源がオフになっている。	受信機を送信機または充電器にセットし直してください。
		受信機電池端子に絶縁シートが挟まれている。	受信機の取扱説明書の記載内容に従い、絶縁シートを抜いて使用してください。

上記の方法でも問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店またはシャープのサービス会社にご連絡ください。

17. 製品仕様

項目		仕様	
周波数		429.25 ~ 429.7375 MHz	
無線出力		10 mW	
消費電力		待機時100 mW, 充電時(30台)13 W	
送信可能範囲		約200 m (見通し距離)	
防塵防水仕様		IP51準拠	
外形寸法		幅148 x 奥行183 x 高さ29 mm(アンテナ角度90度の場合:高さ212mm)	
質量		約425g(ACアダプター除く)	
電源		AC100V 50/60Hz	
環境条件	動作条件	温度 5 ~ 35°C	湿度 20 ~ 90% RH(非結露)
	保管条件	温度 -20 ~ 60°C	湿度 10 ~ 90% RH(非結露)
ACアダプター	定格電圧	DC5V	
	定格電流	4.0A	

18. 保証について

- ・本製品には保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みの方え大切に保存してください。
- ・保証期間はお買いあげの日から1年間です。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- ・本製品の修理時は、工場出荷時の状態になる場合があります。

■補修用性能部品について

補修用性能部品は本製品の生産終了後5年間の保有を行っておりますが、それ以降の修理については対応できない場合があります。ご了承の程、お願いいたします。補修用性能部品とはその製品の性能を維持するために必要な部品です。

■その他

本製品は日本国内仕様です。海外では使用しないでください。

お客様または第三者が、この製品の使用誤りや使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品



修理のご相談など【修理・サービス相談窓口】

おかけ間違いのないようご注意ください。



0570 - 006 - 008

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。

受付時間

●月曜～土曜：9：00～17：40
(祝日および年末年始を除く)

■ナビダイヤルがご利用できない場合は...

東日本地区	043 - 332 - 9957
-------	------------------

西日本地区	06 - 6794 - 9677
-------	------------------

■電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。

シャープ株式会社

本

社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地

ビジネスソリューション事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

Printed in Taiwan

18G ①